

わ げん あい ご

和顔愛語

2007 VOL.10

真生会富山病院だより



電子カルテ導入

電子カルテシステムは、紙カルテで保管・管理されるすべての診療情報をコンピュータに入力し、電子記録として保管・管理していくシステムです。一元管理された最新の医療情報が参照できるように、速やかに、適切な医療・看護が可能となります。



看護の日

5月12日 看護の日、看護部が地域の皆様に、看護の心を届けたいとの思いから、総合受付前ロビーで、健康相談、血圧、血糖、体脂肪などの測定コーナーを設けました。これからも、笑顔と思いやりで、皆様に満足していただける医療サービスを提供していきたいと思っております。

新人研修会

よりよい医療、サービスを提供するためオリエンテーション、スキルトレーニングなど、社会人、医療人としての教育に力を入れ、研修会や勉強会を行っています。



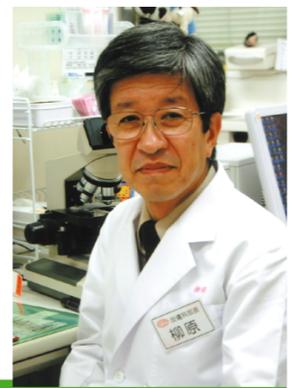
体に優しく短時間治療を実現する
体外衝撃波結石破砕装置(ESWL)



尿路結石症について
泌尿器科医師
横山 豊明

肩関節鏡手術について

整形外科医師
太田 悟



皮膚科医師
柳原 誠

INTERVIEW 7
情熱の白衣 インタビュアー 木田 真由美 看護事業室室長
やなぎ はら まこと
皮膚科医師 柳原 誠

ご案内

診療案内
診療科
内科・消化器科・呼吸器科・外科
小児科・整形外科・耳鼻咽喉科
皮膚科・眼科・心療内科・精神科
神経科・麻酔科・リハビリテーション科
放射線科・泌尿器科・歯科

診療日・外来受付時間
平日 午前8時30分～午前11時30分
午後4時30分～午後7時30分
内科専門外来【予約制】
午後2時～午後4時
土曜日 午前8時30分～午前12時
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

全科往診在宅診療
24時間救急診療
真生会富山病院では、診療時間外の急な病気に對し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。
平日 午後7時30分から翌朝9時まで
土曜日 午後12時から
日・祝日 救急診療24時間対応
救急診療受付電話
0766-52-2156
来院する前になるべくお電話を。
保険証は忘れずお持ちください。

院外処方せん
当院では、原則として「院外処方」としております。当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとってください。



情報室スタッフ

高度化が進む医療において、情報の力は欠かせなくなっています。その情報の力を最大限に活かす、よりよい医療サービスを提供できるように、私たち情報室は、システムづくりに取り組んでいます。医療界では近年、国の方針により、電子カルテと呼ばれるものの導入が進んでいます。これまでに医療記録は紙に書かれるものが中心でしたが、電子カルテによって、膨大な医療情報をコンピュータに保存し、高速に処理することができるようになります。これにより、医療スタッフが患者様の病状をより正確に把握し、的確な治療計画を立てることができ、病気の早期回復に貢献できるようになります。このように申しますと素晴らしく聞こえますが、現実には、理論で割り切れるコンピュータの

世界と、ファジーな要素の多い医療の世界を融合・調和することは至難の業で、多くの医療機関がその導入・運用に苦労しています。当院では、IT企業でシステムエンジニアやプログラマーとして活躍していた人材を情報室に揃え、病院スタッフの中心となつてこの難題に挑み、約1年半かけて、このことができました。病院のスタッフ全員が力を合わせた結果ですが、協力してくださった業者の皆様、また陰ながらご協力ご支援くださった患者の皆様には、この場を借りて心から御礼を申し上げます。今後も情報室は、よりよい情報システムを構築し、患者の皆様様の心身の健康をお守りすることに貢献してゆけるよう努力していきます。

情報室

より良い医療サービスを提供できるようなシステムづくりに取り組んでいます。

真生会富山病院 第7回医療安全講習会開催

5月1日、E&Eプロモーション(株)代表取締役 石割郁子氏を講師にお招きし「接遇でできる安全管理」をテーマにご講演いただきました。講師からは、「5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)の徹底はリスクマネジメントの基本」と教えていただき、院内に潜むリスクについて巡回時に撮影された写真を示して説明がなされました。環境整備とともに、身だしなみや挨拶、良いコミュニケーションが安全管理につながることを学ぶことができた機会でした。



病院に来られる患者様へ善意のお手伝い
病院ボランティア募集
病院ボランティアとして、お手伝いいただける方を募集しています。
活動内容
再来受付機の案内
外来患者様のご案内
車椅子介助 など
お問い合わせ
TEL 0766-52-2156
担当(サービス支援室 木倉 幸くら)

新規事業拡張につき スタッフ募集

| | | | |
|-------|-----|---------|----|
| 正看護師 | 10名 | 歯科衛生士 | 1名 |
| 視能訓練士 | 若干名 | 診療放射線技師 | 1名 |
| 保健師 | 若干名 | 歯科受付 | 1名 |

院内保育施設あります。
応募資格/免許有資格者(取得見込み者を含む)
勤務時間等、詳細はお問い合わせください。
スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL 0766-52-2156 人事担当 吉田

糖尿病・肝臓教室 開催のお知らせ

糖尿病 肝臓病の基礎知識、日常生活の注意点、食事など毎回異なる内容を、医師、看護師、管理栄養士などがそれぞれの立場から説明いたします。糖尿病、肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方、ご家族の皆様もお気軽にご参加ください。
糖尿病教室は、毎月、第2第4日曜日 午前9時30分～午前11時
肝臓教室は、毎月、第3日曜日 午前10時～午前11時
新館5階大講堂で開催されます。
糖尿病・肝臓教室に関するお問い合わせは...
TEL 0766-52-2156 新館1階 総合受付 まで

医療法人 真生会
真生会富山病院

柳原 誠

インタビュー 看護事業室室長 木田 真由美

皮膚は「内臓の鏡」といわれています。皮膚には、内臓の異変が現れます。皮膚の何気ない危険信号も見落とさないように心がけています。



皮膚科医師 柳原 誠

【専門分野】皮膚病理、電子顕微鏡臨床全般

【認定医・専門医】日本皮膚学会専門医 医学博士

柳原先生が医師を志されたきっかけ、理由などがありましたら教えてください。

小さい頃に、野口英世、北里柴三郎など、先人の記念写真の中に必ず顕微鏡が写っているのを見て、漠然と顕微鏡に興味を持っていました。理科の時間に初めて顕微鏡で花瓶の水をみるのがありました。窓から差し込む光で集光するそれこそ野口英世時代の古い型の顕微鏡でしたが、顕微鏡下でミドリムシ、ソウリムシ、ツリガネムシなどが盛んに動き回る様子を見ました。花瓶の水の中でのいるいな生き物が泳いでいる不思議な世界をみて、顕微鏡がアラジンの魔法のランプや手品箱みたいに思え、顕微鏡があこがれのものになりました。

高校では顕微鏡で観察をするのができる生物部に入りました。メダカのふ化の様子やウニの幼生などをみて興奮したのを覚えています。

将来ずっと顕微鏡を使えるのは医学部が高校の教師かと思っていました。受かるはずもない岐阜県立医大を受験。合格発表の日も、

夕食時近所の方が教えてくれて、夜、懐中電灯を持って名前の確認に行つたぐらい、医学部に偶然入学できました。皮膚科を志望した動機も単純で、ポリクリで病気の診断に常に顕微鏡が用いられていることに興味を覚え、さらに一段上の電子顕微鏡が皮膚科教室にあることを知り入局しました。

真生会に赴任されるまで、大学教授として診療、研究され、いま、民間の真生会富山病院にいられてどのように感じておられますか。

岐阜大時代には大垣市民病院に出身したこともあり。この病院は夏になると午前だけで200人余りも皮膚科を受診される病院で、患者さんにはあらかじめ5つ

病気という不協和音を

いつも美しいハーモニーの聞こえる体に患者様と一緒に取り組んでいければと思っています。

が皮膚に皮疹として現れます。皮膚の色の变化(例えば黄疸)、赤い環状の皮疹、痒い赤いブツブツ、繰り返すオデキなど様々な形で出てきます。しかし、各臓器は障害に対するキャパシティが大きいので、軽度の障害では体調の変化、あるいは自覚症状での異常(オーケストラの不協和音)として認知されないことが多いのです。そんな時でも皮膚には何気なく危険信号が出ている場合があります。そんな信号を見落とさないように心がけています。早期に体内の異常を元に戻すことにより、いつも美しいハーモニーの聞こえる体を保てます。この体の維持には私一人の力では到底及びませんが、患者様と一緒に取り組んで行ければと思っています。

はなく、その進行は様々なようです。そんな中で今まで聞いたことのない不協和音に戸惑うことも多くなることと思います。また、高齢者と若者との新しい付き合いの仕方も学問でなく考える必要があるのではないかと思えます。姨捨山の話思い出します。

お隣の国、中国での急速な工業化と砂漠化で大気汚染を含んだ黄砂が例年になく大量に降り注いでいます。光化学スモッグ注意報が発令されていました。日本の高度成長期を思い出しています。

地球温暖化が進み、南方に住んでいる蚊が日本に近づいているとの報告もあります。日本で知られない南方の伝染病が備えのない日本で蔓延する危険性があります。

高齢化社会は別として、人が作り出した環境で、人が苦しむことになり。人間環境のハーモニーが崩れつつあります。早く手を打ち美しいハーモニーを楽しみ続けたいものです。

高齢化、生活習慣、地球環境の変化によって新しい病気の発症を心配しますが。

高齢化により永年働いてきた内臓各臓器も一様に老化が進むので



看護事業室室長 木田 真由美

いつでも、誰に対しても温かい笑顔で迎えてくれる頼れる柳原先生です。視野を広く、アンテナを高く、いろいろなことから学ばせていただく謙虚な姿勢が大切であると先生から学びました。

柳原先生は医師であると同時にプロ級の写真家と聞いています。先日、富山新聞にも掲載されましたが、写真、カメラについてお聞かせください。

カメラは、小学生の頃から高校生までレンズが1枚のスタートカメラという極簡単なカメラで遊ん

お忙しい毎日ですがストレスの解消に何かされていますか。

先日、薬勝寺池公園の桜の写真撮影に行つたとき、偶然、春の女神と呼ばれるギフチヨウの可憐な姿に出合つて、夢中でシャッターを切りました。今、絶滅の危機に瀕している蝶で、できれば記録に残しておきたいと思い、新聞社にお話したら掲載されて、月間3等賞を頂きました。

カメラでしようか？お酒と毎週岐阜に帰って畑起こしかな？たまに近くの名古屋ドームに中日ドラゴンズの応援に行きます。金沢時代が長いのですが、医局の秘書さん、兼務先の病院の看護師さんから色々な郷土料理や山菜などを頂いたり、単身赴任であることから料理の仕方などを教わったりして

のベツトで服を脱いで待つてもらい、私は各ベツトを回り診療をしていました。いわゆる回転寿司的診療をしていました。外来患者さんが多いという事は頼りにされているということなのに十分に診させていただく事ができないジレンマがありました。いまは真生会の皮膚科スタッフも3人となり十分に時間を取って診せていただく事ができ幸せです。

古来「皮膚は内臓の鏡」といわれています。これは内臓の異変が鏡に映る様に皮膚に現れるという先人の教えです。人体は五臓六腑の内臓、脳神経そして骨格・筋肉、眼耳鼻皮膚などの器官がそれぞれ協調しあつて(一種のハーモニー)を形成して健全な人体(人格)を形成しております。人体は一つのオーケストラと考えてもよいかも知れませんが、若いときには力強いハーモニーを奏で、年齢とともに各臓器の機能もそれぞれ減弱し、力強さは無くなりますが、絶妙なハーモニーに変化し、お年寄りの「味」として現れてきます。

一つの臓器の異常は不協和音となり、自覚的には苦痛として表われます。医師はこの苦痛の表われ方により、異常を起こしている臓器を類推し検査・診断・治療へ進んでゆくわけです。

先にも述べましたが「皮膚は内臓の鏡」であります。内臓の異変をいいます。そんな方々を「お母さん」と呼んでいます。「あなたからお母さんと言われる筋合いがない」といわれますが、料理をつくるのも楽しみですね。

若い医師や職員に望まれることはありますか。

何でもよいから得意なことを一つ作る事です。その分野をほとんど追求すると、自然に新しいことが見えてきます。それがきっかけで新しい仲間も増えてきます。学会でも、今自分に興味のないことであっても雑学として色々聞いておくことが大切です。特に症例発表は大切です。その時胸を打たれた症例を頭のタンスに入れておくことです。いずれ引き出すことがあります。

皮膚科では肉眼で皮疹を観察するだけでなく虫眼鏡で拡大して皮疹を観察します。肉眼では気が付かない、神秘的な世界が開けます。日常生活においても少し倍率を変えて物事を眺めてみれば多少人生観も変わるかも知れません。

それから色々な本を読むことでしょうか。小説を沢山読めばいろいろな人の生き方が判るでしょうし、人生経験豊富な患者さんがどうしてこんな考え方をなさるか「理解できないときのヒントがそこに隠れているかも知れません。」

尿路結石症について

尿管結石の形成は、夏の発汗による尿量の減少がきっかけになりやすく、これから夏にかけて要注意です。急に発症する腹痛や側腹部痛は尿管結石と疑って早目に受診してください。



泌尿器科医師
よこやま とよあき
横山 豊明
専門分野：前立腺癌
前立腺肥大症
泌尿器科疾患
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器科学会指導医

症状

夜間に突然、側腹部の激しい痛みがおこり、救急車で病院に運ばれ、尿管結石といわれた。このような経験をされた方もあると思います。尿管結石症というのは尿管である腎臓、尿管、膀胱、尿道などにできる結石のことです。尿中に含まれる成分の一部が固まることができる、とても多い病気です。原因はご本人の体質と、食生活（特に水分摂取量）の影響がほとんどです。

結石が腎臓にあるうちは、特に症状はありませんが、尿管に落ちてそこにつまりますと、突然に、右側、または左側の背部から側腹部、下腹部にかけての強い痛みがおきます。これが尿管結石の痛みの発作です。結石の大きさによっては鈍い痛みのみのもともあります。その他、血尿、悪心、嘔吐という症状が出ることもあります。

治療法

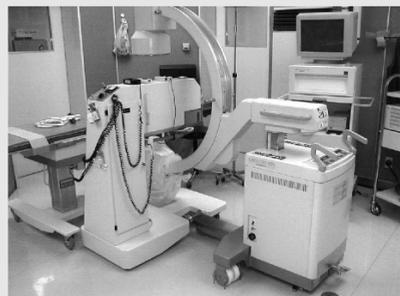
5mm以下の結石であれば自然排石することがほとんどです。十分な水分摂取と、適度な運動のもとに、1〜2ヶ月位経過を見ていただきます。運動は縄跳び、階段を下りる、ジャンプする、などが有効です。逆に1cm以上の石は自然に出ることは難しいので、結石を壊す治療が必要です。体外衝撃波結石破碎術（ESWL）、経皮的結石破碎術（PNL）、経尿道的碎石術（TUL）などの方法があります。手術が必要となる例は、ほとんどありません。ただし5mm以下の結石でも、尿管につまったらま動かない時は、これらの治療をすることもあります。今後は、多くの方が苦しんでいる尿路結石症に対して、積極的な治療をしていきたいと思います。

再発予防法

水分を十分にとり、尿量を増やすことが、結石の予防に一番大切なことです。特に汗をかいたときは、意識して水分補給に努めることが必要です。飲み物はお茶類が一番有効です。食事については、出来る結石の成分により、多少の違いはありますが、基本的には肉類（動物性蛋白）をひかえ、野菜類を多く摂ることが大事です。食生活の乱れは尿管結石症だけでなくさまざまな病気の原因になりますので、普段からバランスのとれた食生活を心がけましょう。

体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)

衝撃波の出る装置を、主に腹部、または腰部にあてて、そこから衝撃波を体内にある結石に当てることで、それを破碎する治療です。体にメスを入れることも、穴を開けることも必要ありませんし、麻酔も必要なく、鎮痛剤のみで治療できます。現在最も多く行われている結石治療です。入院治療が必要な場合もありますが、結石の大きさ、場所によっては、日帰りで治療して頂くことも出来ます。一度摘出手術を受けた後に再発したやっかいな結石も治療でき、尿路結石の苦しみからも解放してくれます。



【体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)の特徴】

おなかを切らない治療法なので体に傷が残りません。治療ベッドに寝ているだけで、1回の治療は1時間程度で終わることが出来ます。麻酔なしの日帰りの治療が可能です。治療中の疼痛もほとんどありません。高齢の方や、心臓病、糖尿病のある方も安心して治療できます。再発の場合の治療法としても最適です。健康保険が適用されます。

年間的には、仕事や家庭で責任が重くストレスのかかりやすい40〜50歳の男性が最も多く、男性が女性より2〜3倍多いのが特徴です。約20人に1人が一生に一度は結石にかかるといわれ、その約半数が再発するといわれています。年に一度の検診で、超音波検査や尿検査で尿路結石の有無を確認しましょう。結石は一度発作を起こすと再発しやすい病気です。再発防止や早期発見のためにも定期的な検診が必要です。医師の指示に従って検診を受けてください。尿検査、X線検査、超音波検査で結石が見つかることが多くあります。

肩関節内視鏡について

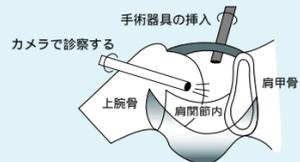
肩関節鏡手術は1cm程度の小さい穴をあけ、そこからカメラを挿入して、そのカメラで肩の内부를覗きながら手術する「関節鏡手術」のことを言います。従来の手術と比べて術後の痛みが少なく、傷跡が小さく目立たない、退院が早いなどのメリットがあります。



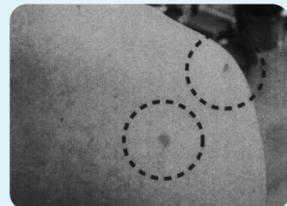
整形外科医師
おおた とよあき
太田 悟
専門分野：骨折、関節外科
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本リハビリテーション医学会臨床認定医
医学博士

肩関節鏡手術の様子

肩の後方から関節鏡（カメラ）を挿入し、前方から手術用器具の操作をします。

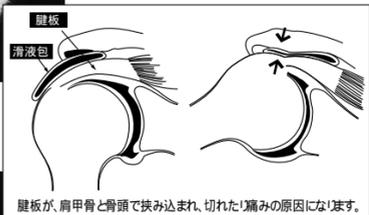


通常の手術の傷跡
5〜7cm程度の切開が必要です。



肩関節鏡手術の傷跡
1cm程度のカメラや手術用器具を挿入する入力を数箇所作成するだけです、大きな傷跡が残りません。

「肩が痛い、肩があがらない」という方、結構多くおられるのではないのでしょうか。四十肩、五十肩とあきらめ、医療機関を受診されない方も多いようです。五十肩だと思っても治らない為、痛みがいつまでも治らない為、当院を受診されて検査したところ、肩の「腱板（けんぱん）」というすじが切れていたことがわかり、内視鏡での手術を受けられ、痛みがとれて以前のように肩が上がるようになった方が何



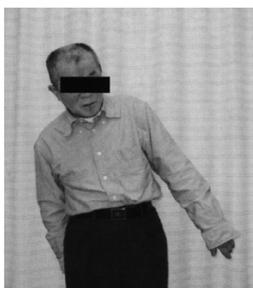
腱板が、肩甲骨と骨頭で挟み込まれ、切れたり痛みの原因になります。



CT

人もあります。腱板とは、肩の奥にあるスジですが、これが年齢とともに弱くなったり、骨に挟み込まれて切れたり、痛みの原因になることがあります。検査は、診察の上、レントゲン、MRI、関節造影、CTなどを行います。肩の手術といえば、骨折、腱板損傷、脱臼など、傷が

大きく、術後の痛みが強い傾向がありました。しかし、最近では肩関節にも内視鏡関節鏡を用いた手術が進歩してきました。関節鏡視下手術は直視下手術従来の切開する手術（に比べて手術創が小さく負担も少ないため、術後の痛みが軽減されます。更に創が小さいことで肩関節周囲の筋肉の機能の低下を防ぎ、日常生活、仕事、スポーツへの復帰が早いという利点があります。また内視鏡で拡大して観察することによって、より繊細な手術操作が可能となり、数箇所の小さい傷で複数の病



術前



術後（4週経過）

術を実施している病院は北陸ではまだ少ないようです。肩の症状でお悩みの方は一度、当院の整形外科医師までご相談ください。

変に処置が可能になります。当院で多く行っている鏡視下手術の対象となる主な肩関節疾患は、中期から高年期の五十肩、腱板断裂、肩の拘縮（こうつしゆく）＝関節が固まって動かない状態、慢性期の石灰沈着性腱板炎、反復性脱臼、スポーツにおける投球障害などが挙げられます。肩関節の病気を、保存的治療手術を行わない治療で完治する場合と手術治療を施さないといけない場合がありますが、適正な診断・治療・手術・リハビリテーションによって、高い満足感を得る事が可能です。肩関節鏡手術

地域医療最前線

医療連携で地域を支える 開業医訪問



内科・循環器科・消化器科
呼吸器科・小児科

渋谷クリニック

院長 渋谷敏幸

射水市戸破新町
TEL 0766-55-0025

診療時間 平 日 AM 8:30~ 12:30

PM14:30~ 18:30

火曜日 PM15:30~ 18:30

休 診 日 日曜・祝日・土曜日午後 第5土曜日



渋谷クリニックは、外科医であったお父様から医院を引き継がれ内科を標榜する渋谷クリニックとして平成9年8月、戸破新町に開業。渋谷院長は、新潟大学第一内科 済生会富山病院 内科医師として、急性疾患や重症疾患に対する高度医療から高齢者医療まで、患者様にあつた診療に意欲的に取り組んできた。

「旧小杉町の中心に居ますが、回りはお年寄りが多く、若い人達が少なくなつてドーナツ現象を起しています。特に高齢者の方々は、毎日元気で健康に暮らしてほしいですね。」そのため、住民検診を勧め、地域住民の健康増進と若い人達の病予防に力を注ぎ、家族、生活環境にも気を配っている。

「内科は、トータルでいろんな患者さんを診察できるから好きです。地域医療は近隣の患者さんを診るわけだから、家庭医とかホームドクター的な要素がありますね。患者さんの元気になる笑顔を見るのが一番嬉しいですね。」渋谷院長に満足と自信の笑みがこぼれる。

現在、週一回、特別養護老人ホーム大江苑に委託医として診療に訪れている。「真生会富山病

毎日、時間に追われ、雑用も多く、好きな絵も時間がなく描けないと残念そうな様子の中に、「食べ歩きが好きですね。真生会の故中野前院長先生も相当グルメな方でしたね。美味しいお店を教えてください、教えてもらいましたね。地元では、お寿司がおいしいですね。米水もおいしいですよ。」中野前院長先生を偲び、地元のPRも忘れない。

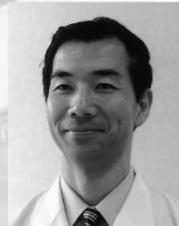
病診連携を充実させたいので真生会富山病院にお願いしたいことが、「行われていると思いますが、医師のレベルアップや医療ミスを防ぐことが出来ますから、院内の症例検討会を積極的にやってほしい。また、医療の勉強をするためにも学術講演会、研究会などの勉強会をもつと開いて地域のかかりつけ医との連携の充実を図り、かかりつけ医や病院医師が知恵を出し合つて、良い地域医療が出来るよう病診連携を強めていきたい。」と語る渋谷院長の目からは、真生会富山病院への期待と、地域住民のために、新しい形の医療連携を作っていこうとする熱い思いが伝わってくる。

新任医師のご紹介

新たに真生会富山病院に赴任した医師を紹介します。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

内科医師
ひら だに かず ゆき
平谷和幸

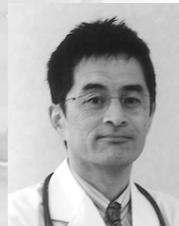
専門分野：糖尿病
日本内科学会、
日本糖尿病学会所属
医学博士



平成13年6月より富山大学医学部第一内科で主に、糖尿病の基礎研究と臨床を5年10ヶ月行ってきました。当初は「インスリン抵抗性」に関する基礎研究を行い、米国の糖尿病専門の雑誌にも成果を発表しました。現在、「メタボリックシンドローム」が大変注目されていますが、今後は、一人一人の患者さんの生活状況に合わせた糖尿病診療を日々心がけていきたいと思っております。

内科医師
なか にし まさ のり
中西正教

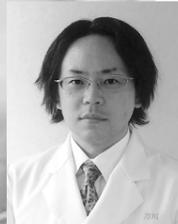
専門分野：呼吸器
日本呼吸器学会専門医
日本呼吸器内視鏡学会専門医
日本内科学会認定医
医学博士



これまで福井大学附属病院やその関連病院で呼吸器内科専門にやってきました。真生会富山病院は、職員の皆さん等多くの方の多大な努力で最良の病院を目指して進んでいる病院であると思います。私も最善の医療を目指して努力したいと思います。その為には、日進月歩する専門医学の修得とともに、十分に正確な診療がどうしても必要です。極めて限られた時間の中でやっていくのは大変ですが、努力工夫して前進したいと思います。よろしくお願いいたします。

皮膚科医師
たち かわ のぶ ゆき
刀川信幸

専門分野：小児皮膚科



4月1日よりお世話になっております刀川信幸です。医師になって1年、皮膚科に入る事を許され6年が過ぎました。金沢医大皮膚科の中で最もジブシー生活が長いのが私の誇りです。しかし一人で診療を行っている日々皮膚科学の奥深さを痛感し、今一度尊敬できる方の下、一から学びたいと思い、柳原道場の門を叩いた次第です。したがって拾って頂いた柳原先生の住んでおられるアルプラザ方面と岐阜には足を向けて寝た事はありません。又、花川先生と言えば学会の鬼とも謳われ、診療はもとより手術から美容皮膚科に至るまでその手腕を遺憾なく発揮されております。この先生方下、働ける機会を与えて下さった真生会には深謝致します。少しでも御恩に報いる事が努めと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

耳鼻咽喉科医師
とみ た
富田 かつり

専門分野：耳鼻科全般



5月に福井大学付属病院耳鼻咽喉科から、真生会富山病院の耳鼻咽喉科に赴任いたしました富田かつりと言います。まだ医師になって4年目で、経験の乏しい自分としましては、自分をさらに向上させる絶好のチャンスと受け止めています。今まで真生会富山病院耳鼻科に赴任してきた先輩方のように、自分も診療し、患者様はもとより周囲の人に気配りのできる人間となるのが目標です。皆様の生活の質の向上に貢献できるよう努めてまいります。未熟者ですがよろしくお願いいたします。

和顔愛語

本院のモットーは「和顔愛語(わげんあいご)」、つまり患者さんに対して、常に優しい笑顔とことばで接し、まず精神面からリラックスしていただくことを、スタッフ全員が願っています。身体を悪くしておられる患者さんは精神的にもつらい状態にあるわけですから、どちらも一緒に癒すことで幸福な状態に戻してさしあげたい、それが医療に携わる者の使命だと考えています。

ちょっと一言

患者様のお口の中の健康の手助けを

歯科といえば、虫歯の治療を思い浮かべる方が多いのですが、歯周病の治療が必要な患者様もたくさんおられます。歯周病の治療には時間がかかり、終わってから定期的なメンテナンスに来ていただくこととなります。長くなるからこそ、より患者様からの信頼がなくてはなりません。治療においては、明るい挨拶から、そして患者様のお話をよく聞くことを心がけています。これからの患者様から信頼されるよう努力し、患者様のお口の中の健康の手助けを精一杯させていただきます。



歯科衛生士
中村 暎

私のおすすめ SPOT



臨床心理士
坂井 朋子

私のお勧めする店は、「スーパーフレッシュ 佐武」と同じ敷地内にある、お食事処『もと半』です。一見、あまり愛想のなさそうな外観で、「ここ、営業してるの?」と思うほどシンプルなお店です。でも勇気をだして入ってみると、中は広くカウンターに7~8席ほど座敷も入れてテーブルは8つほどあります。昼時はほぼ満席です。お勧めは、「うなぎ丼」。お味噌汁とお新香がついて1,300円です。何度もタレにくぐらせて焼き上げたうなぎが、とても香ばしくて柔らかく、ふかふかの白いご飯と、うなぎと、甘辛いタレがなんとも絶妙な味わいです。うわさでは、おでんも美味しいそうです。お店は、昼過ぎから夕方5時ごろまで休憩タイムがあり夜は2時半までですが、ご飯がなくなり次第、終了するそうです。火曜日が定休日です。皆さん、ぜひ足を運んで、ごだわり味の堪能してみてください。



お食事処
もと半

射水市南太閤山 12-1
TEL 0766-56-6339
定休日 火曜日
駐車場完備